

障害を持つ人の就労、就職後のフォローが大切 (2018.11.07)

9月に実施された日本研修の報告会を開催しました。この日本研修に参加したのは、障害者開発庁行政管理局のホルツェツェグ局長と障害児親の会のセレンゲ会長の二人。約1か月間、最南端の島・沖縄で、アジアやアフリカ等10か国の研修員とともに、日本や各国の障害のある人達の就労や自立生活、アクセシビリティについて学びました。二人が共通して強調したのは、就職後のサポート体制。日本では、「ジョブコーチ」という職種の人が、障害のある人が就職した後に職場に入り、仕事を覚えるまでそばで支援をしています。雇用主との間に入り、コミュニケーションも手伝っています。「仕事を続けるには、本人も周囲も馴れるまで職場でのフォローが必要。モンゴルでも何とか導入できないだろうか・・・」研修員の訴えに、80名を超える参加者は熱心に聞き入っていました。



ホルツェツェグ局長



セレンゲ会長

障害勉強会の修了式が実施されました (2018.10.30)

1セット6回で企画している本シリーズも今回で2セット目が修了しました。これまで12回の勉強会に参加頂いた皆さんには心から感謝しています。修了式では、6回すべてに参加した方に金賞の修了証を、5回出席した方には銀賞の修了証を授与しました。毎回、50名近い参加者があり、本当に光栄です。修了式では障害者開発庁のガンボルド副長官にも出席頂き賛辞を頂きました。次回の勉強会ですが、2019年1月末を予定しています。また6回シリーズとし、テーマを決めて実施したいと思いますが、まだ詳細は決めていません。もし希望があれば、なんなりとコメント頂ければ幸いです。



ガンボルド副長官



修了証授与式が行われた



勉強会の様子

JICA DPUBのFACEBOOKページに「いいね」をお願いします。

おかげさまで、今ではページの「いいね」が3597件に達し、より多くの方に情報を発信できるようになりました。これからも、楽しんでいただけるような投稿を目指して頑張ります。引き続き、宜しくお願い致します。

<https://www.facebook.com/jicadpub/>



ゾラさん、DET初挑戦！(2018.11.01)



エルデネゾラさんと学生2名

10月25日、この日は障害平等研修（DET）ファシリテーター二期生のエルデネゾラさんが、初めてDETを実施しました。対象は、所属するユニバーサルプロGRESS自立生活センターでインターンをしている学生2名。ソーシャルワーカー学科で学んでいる大学生でした。ゾラさんは、今年4月にファシリテーター養成講座を受講。これまで何度かグループワークのサポートに参加してきましたが、主担当としてDETを実施したのは初めてでした。「とにかく緊張しました・・・。演習の内容を全部覚えて

いるつもりでしたが、実際前に出て進行してみると、いくつか忘れてしまったことが。せつかくの機会。もっとできるようになるために、続けて実施したいです。」と感想。少し残念そうでしたが、達成感も感じているようでした。参加した学生達は、「一方的な講義ではなく、参加型の方法だったので、楽しかったです。大学の授業でもぜひ実施してほしいです。」と話していました。

写真研修に参加(2018.10.26)

写真や映像はイメージを伝えるうえで重要なツールですよね。たとえば、障害問題に関して、機能障害を映すのか、あるいは社会にある障壁を映し出すのか、写真一つでイメージが変わることもあるでしょう。DPUBも障害分野の啓発やプロジェクトの広報



研修の様子

10/23には、日本センター主催のカメラ講座に、SINRAIプロジェクトとともに参加しました。同じ被写体でも撮り方によって映り方がまったく違うことに驚くとともに、良い写真の撮り方を学びました。しかし、良い写真を撮るのは決して簡単なことではなく、日々改善していくことが必要ということを感じました。今後も広報に力を入れていきますので、どうぞよろしくお願いいたします！

についての取り組みの強化に取り組んでいます。10/23には、日本センター主催のカメラ講座に、SINRAIプロジェクトとともに参加しました。



千葉チーフアドバイザー

ESCAPのあまい思い出

ESCAPには、タイ人を中心とするステキな事務職スタッフがあります。彼らは専門官の指示のもと、書類や会議準備を行うのですが、とても魅力的な人が多くいました。まだ新米準専門官の私と家族ぐるみの付き合いをしてくれたTさん。可愛い娘をいつも自慢していたOさん。老後はお金が大事、国連年金に加入できるのか心配してくれたYさんなど、皆さん個性的でした。誕生日とか歓送迎会とか、なにかある事に特別なランチを開催してくれて、タイごはんはとても美味しいので、いつも楽しく過ごすことができました。特に仲の良かったGさんは、私の上司の直属の秘書なので一緒にいることが多く、普段のランチも一緒にしました。Gさんにはドイツ人の彼氏がいて、そろそろ結婚して子どもを生みたいと公言していたんですが、そのせいか「Gさんがそろそろ外人と結婚するらしい。相手は日本人でいつもランチをしている人だ」という噂が広がりました。Gさんと2人で大笑いしましたが、国連でもどこでも、この手の噂話は一緒なんですね。（つづく・・・）

DPUB連絡先

Office:

Government Building – 2, United Nation’s Street – 5, Ministry of Labor and Social Protection
Ulaanbaatar – 15160, Mongolia

Facebook:

<https://www.facebook.com/jicadpub>

Website:

<https://www.jica.go.jp/project/mongolia/015/index.html>